

令和4年(2022年)度 地域連携活動報告書

連携先名称：世田谷区教育委員会

協定締結日：平成17年(2005年2月22日)

活動状況：継続中

連携先窓口：生涯学習・地域学校連携課 田畑和国様

活動資金：自治体予算

担当教員(所属)：産学官・地域連携センター 副センター長 野口敬夫

活動体制(単位)：キャンパス

関連教員(所属)：武田晃治(教職・学術情報課程)、大林宏也(森林総合科学科)、
野口智弘(応用生物科学部・食品加工センター)

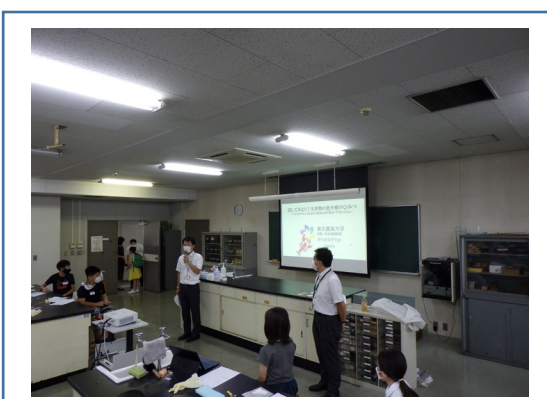
活動目的：

東京農業大学と世田谷区教育委員会が包括的な連携のもと、相互の知的・人的資源等の交流・活用を図り、教育、文化等の分野において双方の発展と充実及び世田谷区立幼稚園及び世田谷区立小・中学校の活性化に寄与することを目的とする。

活動内容・成果：

公募により選出された世田谷区立小学校児童または世田谷区内在住の小学生を対象として、本学教員による講座を3回実施した。

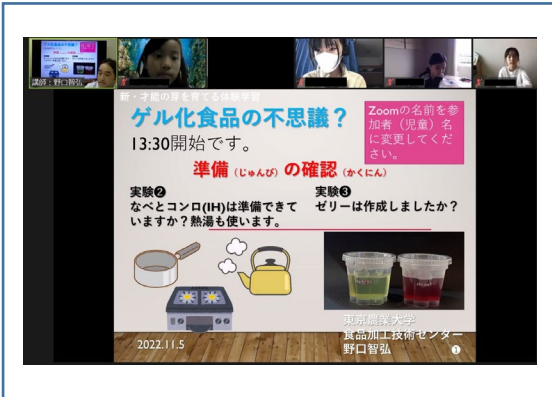
- (1)【武田晃治】生き物講座 定員30名 8月4日(木)13:30~16:00
講座名「探してみよう！生き物の色や形のひみつ」対面にて実施
～アメリカザリガニから始める環境&科学教育 ザリガニSDGs～
生き物の色を題材として見た目の色からミクロな視点でその意味を考える。



(2) 【大林宏也】顕微鏡講座 定員 30名 8月26日(金)13:30~15:30
 講座名「光学顕微鏡で植物観察」対面にて実施
 樹木の細胞を光学顕微鏡で観察する実習。観察用の試料(プレパラート)を自分で作り、一人1台の光学顕微鏡で観察する実習。



(3) 【野口智弘】食品講座 定員 42名 11月5日(土)13:30~15:30
 講座名「ゲル化食品の不思議？」オンラインにて実施
 ゲル化って、いったいなあに？作り、触る、実験する、を各家庭でリモート実験して「？」を解消する内容。



課題・改善点：

倍率何十倍もの多くの応募をいただき、農大の講座は年々期待が高まっている。その中でも地域・社会貢献を尽くすために協力を継続していきたい。